



ひょうたん通信 平成 28 年第 1 号

平成 28 年 4 月 9 日（土）

◎午前

平成 28 年度のグリーン・ハート・スクールの開校式が以下の通り行われました。まず公益財団法人伊勢原市みどりのまち振興財団の廣田理事長より開校の挨拶があり、続いてスクール担当の財団職員、大津・岡名の紹介がありました。



新しいお友だち 11 名を迎えてスクールがスタートしました

次に今年度、生徒指導担当の伊勢原グリーン・インストラクターを代表し高橋※（サンタ）が当校名の意味や指導内容等の説明を次のように行いました。

『グリーン・ハート・スクール』とは（緑＝自然）を大切に^{はぐく}する心を育む学校です。

そして指導内容は

- ① 五感（見る・聞く・匂い^{にお}をかぐ・味わう・触れる）で四季^{しき}の変化を感じる。
- ② 作物を育て収穫^{しゅうかく}し、その命をいただく^{たいけん}体験をする。
- ③ 自然観察や木工工作など文部科学省の教育指導要領^{もんぶかがくしょう きょういくしどうようりょう}の規制を受け^{きせい}ない学びと遊びを行います。学びも遊びも字の中に”子”の字が入っています。子供は自然にふれて遊ぶのが大切でゲーム機やゲームセンターで遊ぶことではありません。
- ④ その日の終わりに授業の内容や感想^{かんそう}を書く「ひょうたん通信」を保護者の方にフィードバックします。このようにして読める字を書くように指導していきます。

※サンタは三つのだ①のしく、②めになる、③よりになるという意味です。

続いてインストラクター全員と6期のインストラクター実習生の自己紹介を行い、次に今年度の生徒23名が自己紹介後、外に出て大山を背景にした恒例の記念撮影を行いました。

最初の授業は散策路に出て、満開を少し過ぎたサクラの花を中心に、五感を働かせループで観察しフィールドノートにスケッチをしました。お天気は花ぐもりで暖かい春風に散るサクラの花びらの中での授業でした。

◎午後

- 午後は伊勢原市の花「キキョウ」の苗をポットに植え替え、各自が1鉢持ち帰る作業を行いました（これは財団からのプレゼントです）
- 畑に行きジャガイモの植え付けを行いました。品種はダンシャクとメイクイーン。品種によって種芋の形の違いを見る→包丁を使い種芋を切る→切り口にわら灰をまぶす（消毒のため）→約30cm間隔に切り口を下に向けて置き、その間に化成肥料を入れる→土をかぶせる。インストラクターの菅原さんの指導のもとに作業が進められました。
- 今年は生徒23名中約半分が新人です。インストラクター全員が安全に楽しく作業ができるように指導したため予定より早く終わりました。その他に前年度の作業で植えたソラマメの花や成長が順調なタマネギを観察しました。
時間が余ったので青柳さんの提案で散策路をまわり教室に帰りました。そのため長靴を持って来なかった生徒たちも靴の底の土を教室に持ち込まずにすみました。
- 最後に今日の授業の内容や感想などを「ひょうたん通信」に書き、予定したメニューの全てが無事終了いたしました。

記：G | サンタ

この次は5月21日（土）です

【ひょうたん通信】は8人ずつ順次送付していきます。お楽しみに！

1. 集合時間 午前9時50分
2. 教室 伊勢原市総合運動公園 体育館2階 会議室
3. 予定内容 午前：畑の作業 午後：自然観察（春）
4. 持ち物 お弁当、水筒、タオル、子ども用軍手、筆記用具、雨具（長靴等）、虫メガネ、ビニール袋、着替え



★グリーンハートスクールは、雨天でも行います。

★お休みをするときは、みどりのまち振興財団まで必ず連絡してください。

★土曜日に連絡される場合は、できるだけ8時30分～9時までの間をお願いします。